

保育園の栄養士として働き始めて、5年目になります。福島は原発事故からまもなく3年、とにかく悩み苦しんだ日々でした。放射能汚染の現実をふまえて、安心・安全な給食の提供に努めるため、毎日の食材の放射能測定をはじめ、職員みんなで日々学び・考え合いながら一歩一歩進んできました。子どもたちは毎日、給食室と関わりあいながら育っています。真剣に

キラリふれっしゅインタビュー



ふるかわ 古川 麻衣さん
1988年生まれ
福島支部・さくら保育園分会

クッキングにとりくむ姿、苦しい食材に挑戦しようとする姿、そんな子どもたちの笑顔や言葉に日々励まされ、楽しく給食づくりをしています。「食材に触れる・作る・音・匂い」を知ることから生まれる「発見」や「驚き」を一緒に体験し、共有し、伝えていきたいと思っています。事故前の生活を取り戻すため、職員と保護者と手を取り合って、歩んでいきたいと思えます。

原発事故から3年

子どもたちに安心・安全な給食を

My ぶーむ

香りに誘われてボディークリームなどを集めています。好きな香りに包まれている時が至福の時です。



お便り
ありがとう

とりくみのお知らせ

2月

- 3日(月) 要求提出ゾーン (~15日)
- 14日(金) 全労連中央行動
- 15日(土) 障害者施策セミナー (東京)
- 19日(水) 福保労・全保連・障全協 3団体学習会 (東京)

3月

- 6日(木) 全労連中央行動
- 7日(金) 福祉保育労中央行動
- 8日(土) 組織・共済拡大交流集会 (東京)
- 11日(火) 3・11集会
- 12日(水) 回答指定日
- 13日(木) 暮らしを守る総行動

4月

- 10日(木) 全労連中央行動
- 24日(木) 許すな社会保障改悪国民大包围

問273号：春闘が始まったのは？

- 1964年
- 2014年
- 1955年

(ヒント：今月の「福祉のなかま」を読めば分かるはず!?)

答えとあなたの近況や「福祉のなかま」への感想など、一言を添えてはがきかFAX、メールで送付してください。紙面やHP等に掲載させていただくことがありますので、ご了承ください。(地方組織・分会、氏名、住所、[273号の答]と明記してください)

締切▶ 3月15日 発表▶ 2014年4月号
賞品▶ 正解者の中から3人に図書カード(1000円)進呈
宛先▶ 「福祉のなかま」編集部 273号係



応募方法

271号(2013年12月号)の答えと当選者
答えは「36協定」でした。応募は7人でした。
抽選により、次の方々に図書カードを送ります。

読めば分かる
なかま
クイズ

あったか

共済



〈2013年秋期 新規加入キャンペーン結果発表〉

共済を支えるなかまが新たに増えました!

■個人共済■

新規加入申込数：生命共済3人 医療共済4人
火災共済4人 合計11人

都道府県別加入者数：山梨1、京都1、大阪1、兵庫1、岡山1、広島1、福岡2(人)

■組織共済■

新規加入申込数：3分会

都道府県別加入者数：滋賀8、京都7、大阪11(人)

組織・共済拡大全国交流会

春闘期の組織拡大、共済拡大の意思統一と共済新制度に向けた意見交換、各地のとりくみ交流をし、実践に役立つ「14組織・共済拡大全国交流会」を開催します。

すべての地本・支部から、組織・共済担当役員の参加をお願いします。

日時：2014年3月8日(土) 11:00~17:00

場所：亀戸文化センター 第2研修室 (カメラアプラザ5階)

お知らせ

福祉保育労 火災共済

14年度は消費税の増税、社会保障の負担増・給付減、さらに民間の火災保険の保険料が3~5%程度上がる見通しと報道がされています。

家計への負担は増すばかり...

そこで、掛金の安い福祉保育労共済への見直しをおすすめします。

福祉保育労火災共済の掛金は全国一律で地域による格差がありません。もちろん値上げの予定もなし。火災はもちろん、落雷による電化製品等の被害、風水害等(雪害も含む)、突発的な第三者の加害行為も保障の対象です。



●風水害等(雪害も含む)



●突発的な第三者の加害行為



●落雷による電化製品等の被害

年額掛金の比較

たとえば

- Aさん(20代、鉄筋18坪、借家、単身世帯)
- Bさん(30代、鉄筋25坪、持家、3人世帯)
- Cさん(50代、木造50坪、持家、4人世帯)

最高保障額	A 300万円	B 3000万円	C 4500万円
福祉保育労火災共済	900円	9,000円	27,000円
他の一般的な火災共済の例	1,200円	12,000円	31,500円

入ってて良かった!!

火災共済に加入
備えあれば
憂いなし!



2012年北海道地本大会にて

火事や災害が自分に降りかかるとは、あまり考えません。でも?と思い、年に1回「まあいいか!」と火災共済の掛金を払ってきました。ところが、昨年2月に玄関の天井から、水がポタポタ落ちていたのではないかと。雪が解けてから業者に見てもらおうと、屋根に穴。そこから水が入り、断熱材も壁も取り替えないと駄目となり2度の工事。ふと、「これは火災共済の対象になるのでは」とひらめき、本部に電話。書類と写真を送ると、工事費の一部が振り込まれ、「入ってて良かった」を実感しました。「備えあれば憂いなし」。みなさん、何があるか分かりませんよ!(2012年秋給付)

(北海道・札幌保育労組分会共済会 土岐 由紀子さん)